

ナガエヤミサラグモ種群 (5種)

岡山県：留意

クモ目

Arcuphantes longiscapus-group

環境省：該当なし

サラグモ科

選定理由

移動能力が低いため、地理的分化が激しい。岡山県では5種が側所的に分布し、アキヤミサラグモ以外の4種は、岡山県が分布限界になっている。

存続を脅かす要因

森林伐採

分布状況

ナガエヤミサラグモ種群は、各種が西日本で側所的に分布するが、一部では分布が重複する。

岡山県でも各種が側所的に分布し、ハリマヤミサラグモ(北東部)とセトヤミサラグモ(南東部)は分布域が狭い。

生息情報

体長は各種とも約2.5mm。頭胸部は黄褐色、腹部は暗灰褐色で白斑がある。森林の谷筋で、礫が重なり合ったような場所などに生息し、礫間の薄暗い場所に目の非常に細かいシート網を張っている。

特記事項

岡山県には、ヒバヤミサラグモ (*Arcuphantes hibanus* H.Saito)、アキヤミサラグモ (*A. iharai* H.Saito)、ハリマヤミサラグモ (*A. nojimai* Ihara)、セトヤミサラグモ (*A. setouchi* Ihara)、ツルサキヤミサラグモ (*A. tsurusakii* Ihara) が分布する。

文献番号 35

(野嶋宏一)



アキヤミサラグモ

撮影：野嶋 宏一



コガネグモ

岡山県：留意

クモ目

Argiope amoena L.Koch

環境省：該当なし

コガネグモ科

選定理由

大型のクモで、良好な草地環境の指標種となる。近年、分布域、個体数が減少傾向にある。

存続を脅かす要因

河川開発、土地造成

分布状況

本州(関東南部以南)、四国、九州、南西諸島に分布する。

岡山県では全域に分布するが、減少傾向にあると推測される。

生息情報

体長は雌が20～25mm、雄は小さく5～7mm。雌では腹部の背に3本の黄色い横帯がある。日当たりの良い草地に生息し、草間に大きな垂直円網を張る。本種の生息は餌の昆虫類の豊富さを反映するものであり、明るい草地の環境指標種として適する。

(野嶋宏一)



撮影：野嶋 宏一

